

学校教育目標 「心豊かな生徒」「自ら学ぶ生徒」「心身ともにたくましい生徒」

校 訓 「自主・責任・規律・親和」 R7. 10. 15発行 文責 校長 本多 博

2年生、職場体験学習の感想を紹介します

2年生は、進路学習の一環で職場体験学習に取り組みました。職場体験の本番までには、働くことや職場体験学習の意義を学んだり、各事業所に自分達でアポをとって事前訪問を行ったりしました。3日間実際に働くことを通して、学校の中だけでは学ぶことのできない、働くことの大変さや働いている方への感謝の気持ちなど、多くのことを知り、感じる事ができたはずです。生徒達を受け入れてくださった事業所の皆様、本当にありがとうございました。

藤川 玲那 (津吉小学校)

3日間の職場体験学習を通して、教えることの難しさを知ることができた。自分は理解している、相手が理解してくれているのか、どうしたら理解してもらえるのかがわからなかった。わからないところを教えるときは、寄り添いながら教えたり、問いかけながら教えたりすることが大切だとわかった。

授業が始まったら、最初に復習させることが大事だということや、反応やあいさつをさせていることの意味もわかった。普段なかなかやらないことがたくさんあったので苦戦した。授業補助や教材の準備なども大変だった。今までは教えてもらう側だったけれど、この3日間は教える立場だったので、教えることの難しさや、どうしたら相手に伝わるのかを学ぶことができた。

この3日間を通して、教えることの大変さややりがいを知ることができた。職場体験で学んだことを、これからの生活に生かしていきたいと思う。

山口 桃花 (南部公民館)

私は今回の職場体験を通して、働くことの大変さとやりがいを知りました。標語の入力や本を並べる作業を体験して、どの仕事も地域の人たちが気持ちよく利用できるように工夫されていることが分かりました。また、軽スポーツの体験もさせていただきました。公民館は、地域の人たちが交流する場所として大切な役割を果たしているのだと思いました。実際に公民館で働いてみると、想像していたより大変でしたが、一つ一つの仕事にやりがいを感じました。

今回の体験を生かして、将来の自分の仕事についてよく考えていきたいと思います。

